

「第23回千葉元気印企業大賞」きょう授賞式

千葉県の活力ある中小、ベンチャー企業を表彰する「第23回千葉元気印企業大賞」(主催・フジサンケイビジネスアイ、共催・千葉興業銀行、特別協賛・千葉ロッテマリーンズ、協賛・鴨川シーワールド)の授賞式が19日、京成ホテルミラマール(千葉市中央区)で開かれる。今回は、容器包装関係の廃棄物・資源物のリサイクル事業を通して環境保全に取り組むとともに、災害用備蓄倉庫の設置などで地域に大きく貢献しているガラスリソーシングが、栄えある大賞・千葉県知事賞に輝いた。授賞式では、大賞のほか5つの部門賞と奨励賞をあわせて10社が表彰される。

千葉県経済をけん引する企業への成長に期待



森田 雄作 知事

このたびは「千葉元気印企業大賞」の受賞、誠にありがとうございます。

大賞を受賞されたガラスリソーシング株式会社様をはじめ、今回受賞された皆様は、優れたサービスや、独自技術で本県の産業振興に貢献いただいております。まさに「元気印」の名にふさわしい皆様です。

さて、本県の経済情勢につきましては、引き続き緩やかな回復基調が続いております。今後、本県の経済を持続的に発展させるためには、その効果を地域の隅々まで行き渡らせ、本県経済の中心である中小企業の皆様に「元気」に活動いただくことが重要です。

県では昨年、今後4年間に重点的に取り組む政策を取りまとめた新総合計画「次世代への飛躍 輝け!ちば元気プラン」を策定し、さらなる飛躍に向けた一歩を踏み出しました。

また、先月には「第4次ちば中小企業元気戦略」を策定し、小規模企業の振興を重要な柱として新たに加え、中小企業が直面する様々な課題に対して、施策の充実を図っていくこととしています。

さらには、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の2024年度の全線開通や北千葉道路の未事業化区間の早期事業化に向けて、計画的なインフラ整備を進めているところです。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、県内で8競技が開催されることから、本県の魅力を国内外に発信する絶好の機会でもあります。

今回受賞された企業の皆様におかれましても、こうした追い風をチャンスとして捉えていただくとともに、この「元気印企業大賞」をステップアップに、千葉県経済をけん引する企業に成長されることを期待しております。

結びに、受賞企業の皆様をはじめ、県内企業の皆様のますますの御発展を祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

大賞・知事賞にガラスリソーシング リサイクル事業で産業創出に貢献



伊藤 憲 会長

関東一円の容器包装関係の廃棄物・資源物のリサイクル事業を行っている。各自治体から搬出されるガラスびんをはじめ、自動販売機のびん、缶、ペットボトルなどの容器類、廃棄食品リサイクル事業を通して、環境保全や産業創出に貢献している。

銚子市と成田市にあわせて4つの工場をもち、銚子市の本社工場では市町村から搬出されるガラスびんを処理してリサイクルガラス造粒砂「サンドウエーブG」を製造・販売している。長山工場は、銚子市のリサイクルプラザの代替業務として廃プラスチック類・ペットボトルの中間処理のほか、食品リサイクルとして飲料・食品類を豚の飼料の原料として製造販売。また成田工場は、飲料メーカーから搬出される飲料容器(缶・ペットボトル)の再資源化を行っている。

1日あたり70台以上のダンプカーやトラック、重機が稼働してCO₂を排出していることから、その吸収と生態系の再生を狙いに里山「陽光の里」を千葉県多古町に整備。人工池と小川を造成し、桜や椎、栗、柿など約3000本を植栽し、自

然と触れ合える公園として地域に開放している。

一方で、東日本大震災の教訓から、社員・家族だけでなく、地域住民の安全確保を目的に岩盤層の海拔39mの場所にある本社敷地内に災害用備蓄倉庫「蔵」を建設した。米のほか、非常用飲料水や非常食、トイレ、寝袋などを備蓄し、災害発生時の避難者に提供する。

昨年8月には銚子警察署と「災害時における防災備蓄物資の提供協力及び施設の使用並びに災害応急対策業務に関する協定」を締結。警察業務に必要な要請に対して協力できる危機管理棟を建設した。多目的ホールや通信設備を備えている危機管理棟は、銚子署が管内の被害状況把握に必要と判断した場合使用要請ができる。

<会社メモ>

◇本社=千葉県銚子市春日町740-1
☎0479・24・6651

◇設立=1998年3月

◇資本金=8880万円
http://www.glass-r.com/

第23回 千葉元気印企業大賞 大賞(知事賞)受賞

地域を見つめ 地域とともに

ガラスリソーシング(株)は地域とともに歩み続けます。



今やるべきことをやり、未来の道へ

ガラスリソーシング株式会社

代表取締役会長 伊藤 憲

- 本社・本社工場 〒288-0814 千葉県銚子市春日町740-1
TEL.0479-24-6651 FAX.0479-25-5808
- 長山工場 ■ 成田支店・成田工場 ■ 成田第二工場 ■ 神奈川支店

http://www.glass-r.com



ちば興銀



おひとりおひとりに
お応えします

第23回「千葉元気印企業大賞」

各受賞者のみなさま、おめでとうございます。

わたくしたちは、フジサンケイビジネスアイとともに

1995年の第1回開催からこの取組みを応援しています。

当行は、地域のお客さまのために「コンサルティングバンクの確立」実現に全行一丸となり取り組んでまいります。

地域とともに ちば興銀

千葉興業銀行

ガラスリソーシングに賞状

千葉元気印企業大賞授賞式

千葉県内の活力ある中小・ベンチャー企業を表彰する「第23回千葉元気印企業大賞」（主催・フジサンケイビジネスアイ、共催・千葉興業銀行、特別協賛・千葉ロッテマリーンズ、協賛・鴨川シーワールド）の授賞式が19日、千葉市中央区の京成ホテルミラマーレで開かれ、大賞・千葉県知事賞を受賞した廃棄

物・資源物のリサイクルを手掛けるガラスリソーシング（千葉県銚子市）の伊藤憲一会長に、千葉県の滝川伸輔副知事から賞状と盾が手渡された。

伊藤会長は「受賞できて大変うれしい。創業から20年になるが、振り返ると早かった。多くの人の助けがあって事業を発展できた」と喜びを語った。



同社は、関東一円の各自治体から搬出されるガラス瓶を処理してリサイクルガラス造粒砂

「サンドウエーブG」を製造・販売。また千葉県多古町に人工池と小川を造成し、桜や椎など

大賞・千葉県知事賞を受賞したガラスリソーシングの伊藤憲一会長（右）と千葉県の滝川伸輔副知事（千葉市中央区

約3000本を植栽して自然と触れ合える公園として地域に開放している。

授賞式では千葉興業銀行の青柳俊一頭取が「技術革新によって中堅・中小企業の経営は大きな変わり目にある。今後の環境変化に対して、少しでも役に立ちたい」とあいさつ。

審査に携わった千葉県経営品質協議会の渡辺昇常任幹事は「県内に素晴らしい企業が存在することを再認識した。応募企業に敬意を表し深く感謝する」と述べた。